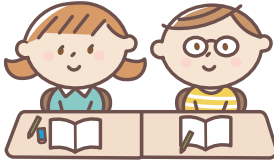


市民の声を届けて、実現!

35人学級が、小学5年まで拡充

日本共産党市議団は、「少人数学級の拡充」を繰り返し求めてきました。国が5年間で35人学級を小学校全学年に拡充する方針を打ち出しました。

熊本市は、全国の拡充に先がけ、現在小学校5年生までの「35人学級」が実現しています。



「生理の貧困」解消へ

公共施設・学校へ「生理用品」設置

いち早く議会で「生理の貧困」を取り上げ、市立学校の生理用品設置予算化を皮切りに、市・区役所等はじめ公共施設の女性トイレに生理用品が設置されました。



国民健康保険の資格証明書が発行中止に

熊本市の国民健康保険料は、政令市でトップクラスの負担です。払えない世帯へは、資格証明書・短期保険証の発行・差押えなどの厳しい滞納処分があります。コロナ禍、資格証明書の発行が中止になりました。

「高校進学支援金」が実現

給付型奨学金は、保護者・生徒の強い要望です。繰り返し求め、入学金を援助する「高校進学支援金4万円」が支給されることになりました。



学校図書購入費が拡充に

繰り返し要望してきた「学校図書」の購入予算が拡充されることになりました。2026年までにすべての小中学校で、国の整備基準を達成する方針です。



学校トイレの改修 洋式化や多目的トイレへの改修など、バリアフリー化が前進しました。

市議会唯一の「野党」として 市政のムダと歪みを正す先頭に

桜町再開発・熊本城ホール 450億円的大型ハコモノを追及

民間の再開発に補助金を出し、熊本城ホールまで整備し、450億円もの税金を投入。しかも、市長は多額の税金を投入した豪華マンションに入居しています。市政史上最大のハコモノへの投資、市長の姿勢を一貫して追及しました。



市長や議員の海外視察は中止を

日本共産党市議団は、市長や市議会議員がビジネスクラスを利用して行う海外視察の中止を繰り返し求めてきました。税金での海外視察に参加していない会派は日本共産党だけです。



統一協会問題質す先頭に

自民党や行政と、統一協会の癒着が明らかになった2022年の9月議会で統一協会問題を取り上げ、癒着の実態を明らかにするとともに、関係断絶を求めました。

議会改革を提案

議会が「言論の府」として活性化するよう、質問時間の確保、少数会派の意見を尊重した民主的運営や、議員報酬の削減、費用弁償の廃止を求めてきました。費用弁償が大幅に削減されたことは、その成果です。

**議員報酬削減
費用弁償廃止**

日本共産党

2023年 号外 (早春号)

熊本市議団 市議会だより

発行: 日本共産党熊本市議団 熊本市中央区手取本町1-1 TEL: 328-2656 FAX: 359-5047
メール: kumamsu@gamma.ocn.ne.jp ホームページ: 共産党 熊本市議団 検索



上野みえこ
(中央区)



なすまだか
(東区)

身近な相談相手として

ご相談は日本共産党市議団へ

☎328-2656

大型ハコモノより くらし・福祉・教育、最優先の市政へ

国民健康保険料引き下げ、介護保険の負担軽減を



政令市トップクラスの国民健康保険料は、負担の限界を超えています。介護保険も実施から20年以上経ち、保険料は2倍以上になりましたが、受けるサービスは削られていくばかりです。国民健康保険料や介護保険の保険料・利用料の負担軽減が必要です。

予算の1%で実現できます

子育て支援「3つのゼロ」

**子ども医療費
高校3年生まで完全無料に**

熊本市の制度は、県下でも最低です。現在、県下ほとんどの自治体が高校3年生まで完全無料の制度を実施しています。熊本市でも実現しましょう。

9.5億円



第2子以降の保育料を無料に

認可外・民間も含め、第2子以降の保育料・幼稚園授業料を無償にしましょう。

4,500万円

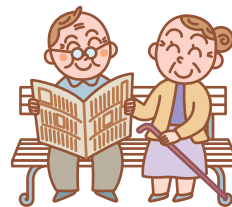
学校給食の無償化を

憲法25条「義務教育は無償」の規定に沿って、小中学校の給食費を無償にしましょう。

24億円

高齢者の補聴器購入への助成を

お隣の益城町ですでに実施されている「高齢者の補聴器購入への助成」を求めていきます。政令市では、相模原市・新潟市が実施しています。市民団体での助成制度を求める署名活動も始まっています。日本共産党市議団の質問で市が「聞こえ」の調査を行いました。



おでかけICカードは、高齢者の現行制度を守り、障がい者は「無料」に

400億円 市庁舎建替えは中止を!

「耐震性能は不足」という建替え理由に疑義あり

建替えの必要性の根拠である「熊本市が行った耐震性能評価の結果・耐震性能が不足」に疑問が出され、その検証が行われています。市議会参考人の齋藤幸雄氏は「耐震性能は有している」と根拠を示し、見解を述べました。一方、市長の諮問機関・有識者会議耐震性能分科会は検証内容を非公開で、市の評価結果を追認し、「耐震性能は不足」と結論しました。

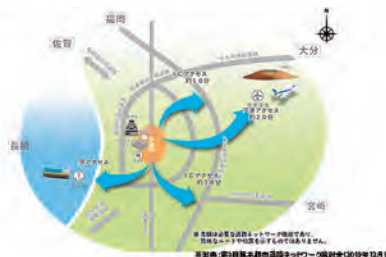
秘密裏に検証するような市の評価結果は到底信頼できません。



借金財政をさらに悪化させる建替え費用400億円

桜町再開発などへの過大な投資で、熊本市の借金は過去最高の5,000億円。市庁舎建替えに400億円も投資すれば、さらに借金が増えることとなります。

熊本市を中心とした新たに必要な道路ネットワークの機能イメージ



借金4,000億円 の「都市高速」が必要でしょうか?

熊本県・市で検討をすすめている道路整備「10分・20分構想」は、熊本市中心部からインターまでと、インターから空港までを都市高速で結ぶ計画です。約30キロの区間となる都市高速整備には、約4,000億円の借金をしなければなりません。1日25万台以上が利用している福岡・北九州都市高速でも、40年で借金返済は半分もできていません。熊本市で、このような事業が成り立つのか、検証と市民への説明こそ必要です。

ジェンダー平等の熊本市へ

政治や社会への女性の参画推進と、男女間の不平等の是正や、あらゆる性が尊重されるような社会の実現に取り組みます。

憲法9条を守り、平和な社会を！
気候危機打開、持続可能な社会へ